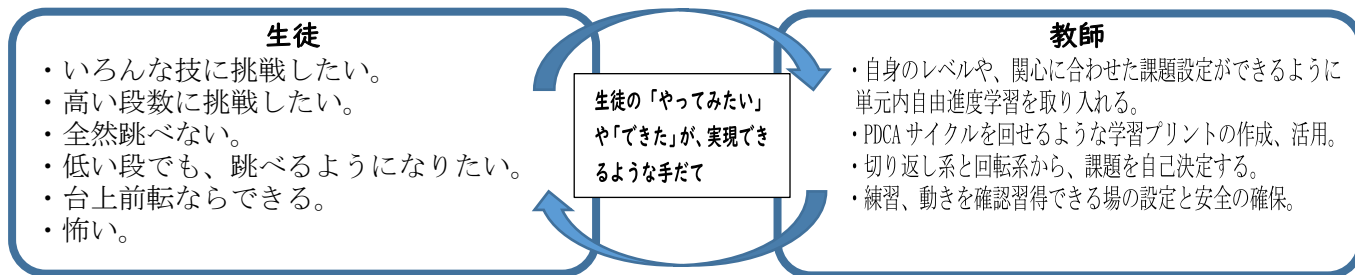


1. 生徒と教師の内省の往還 (実施アンケートより)



2. 単元内自由進度学習の学習目標

主体的に学びの自己調整を行い、ときには既習事項を活用しながら協働的に学習を進める中で、学びの共有や連携によって、個の学びを双方向的に広げようとする。

3. 単元内自由進度学習の進め方

学習活動

本時2回目/全5回

生徒の思考、表現等	学習活動	教師の手立て、支援
① 本時の予定を確認する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業では〇〇まで進んだから、今日は△△まで進もう。 ・前回の授業では〇〇まで進まなかったから、今日は時間内に完了するように進めよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・準備を全体で進め、体操・補強運動まで行う。 ・前時の振り返りと本時の計画を各自確認。
② 学習を開始。(実践・タブレット・指導書・仲間・先生)自身の学び方で進める。学び方を変更するなど、授業内でも学びを自己調整する。 ※時間まで繰り返し本時の試技を必ず一度は撮影し、ロイロノートに提出する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・実践のみ、ひたすらしようと思ったけど、うまくいかないな。 ・仲間のアドバイスで変わったな。 ・自分の技より、うまくいっている人の見たいな。 ・どうしてもうまくいかない。 ・だいぶ良くなったな、次の技にいききたいな。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学び方についてのアドバイス。 ・計画の見直し。 ・出来栄えについてのチェックとアドバイス。 ・技ができない子に対して、直接助言。 ・出来栄えのポイントを共有。 ・安全面については、適宜指導。
③ 本時の学習のふり返りを記入する。次回の学習予定を確認する。 ※終了5分前に実施		
<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業では〇〇まで進んだから、次回は△△まで進もう。 ・今日の授業では〇〇まで進まなかったから、次回は時間内に完了するように進めよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自身の動画をみて学びをふり返し、最初の計画を照らし合わせ、次時の学習を確認または修正し、見直しを持てるような活動とすることを意識させる。

4. 単元内自由進度学習における教師の主な手立て、支援 ※学習内容の詳細は学びの地図参照

オリエンテーション 協働的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の行い方や注意事項の確認(準備、片付けの仕方。補助の仕方。道具の取り扱い。等) ・基本技の「開脚跳び」「台上前転」を行いながら、出来栄えについて考える。
ガイダンス 学習計画立案	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習から自分に合った課題を選べるようにねらいを共有する。 ・学び方についても自分あったものを選ぶ、または調整できるようにねらいと方法を伝える。 ・PDCA サイクルを回せるように学習プリントについて確認する。
単元内自由進度学習 (前半)	<ul style="list-style-type: none"> ・自らが気づけるように、技や出来栄えの直接的なアドバイスは避け、計画や学び方についてのアドバイスを行う。 ・学習プリントに、自分に必要な練習や場の設定も書き込めるようにする。 ・生徒から出た必要な支援や場の設定を、安全面を考慮して可能な限り設置する。
単元内自由進度学習 (共有、計画の見直し)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の技の出来栄えと仲間の技の出来栄えを比べたり、気づいたポイントを共有したりして、様々な視点を持たせる。 ・当初の計画・課題について見直し、調整しながら再度計画を立てる。
単元内自由進度学習 (後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・前半の支援を継続するとともに、できない生徒には、技や出来栄えに対する直接的なアドバイスを適宜行う。 ・課題の進捗が高まった生徒はレベルアップした課題に取り組みせ、より出来栄えについて深く考えさせる。
単元内自由進度学習の学習後	<ul style="list-style-type: none"> ・単元内自由進度学習中に生徒の習得が不十分と感じた内容について、全体で補充を行う。

5. 評価

- ・習得した知識を用いて、自分の課題やその解決に向けた技のポイント・体の使い方について、自身の考えや運動の取り組みを自己調整し工夫することができる。(学習プリント、思・判・表)
- ・課題に挑戦したり、振り返りを充実させたりして、次時の課題を修正するなど主体的に学びを調整できる。(観察・学習プリント、態)
- ・繰り返し系、回転系の基本的な技の一連の動きを滑らかにして飛び越すことができる。(観察・ロイロノート、知・技)
- ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることを理解ができる。(観察・ロイロノート、知・技)